

漁海況情報第5報 (2010年8月3日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0153

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

表層水温は平年よりも高めに推移し、特に仙台湾と気仙沼沖合で高くなっています。

本県沿岸から沖合の表面水温は、25～28℃台となり、平年よりも約1～5℃高くなりました。特に仙台湾奥で4～5℃高く、気仙沼沖合では4℃高くなっています。

100m深水温については、7～13℃台となり、142°E以西では平年並から1℃低く、142°E以东の38°30′～39°N付近では平年より概ね1～3℃高く、38°N付近では平年並から3℃低くなっています。

[P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]

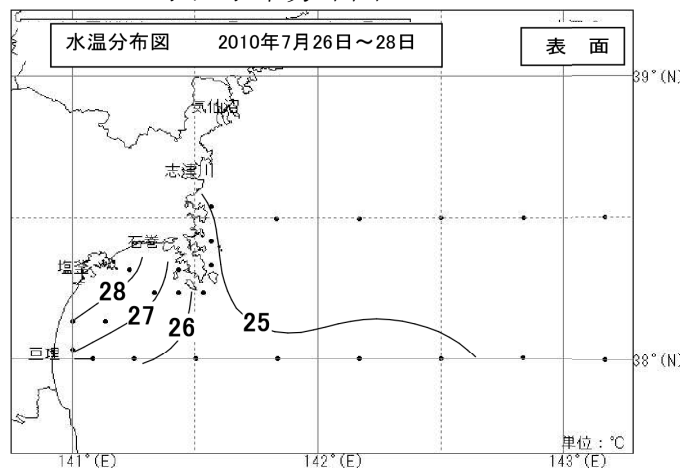
水温鉛直断面図をみると、気仙沼沖合ライン、雄勝沖合ライン、亶理沖合ラインともに表面から水深100m付近までの水温差が先月よりも大きくなっています。[P2.水温鉛直断面図]

東北海域の表面水温の分布について、本県沿岸には25℃台の暖水が波及しています。[P2.東北海域の海況図：(社)漁業情報サービスセンター]

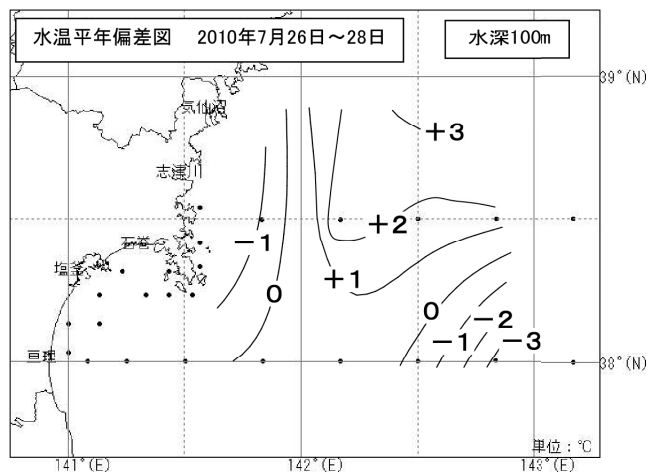
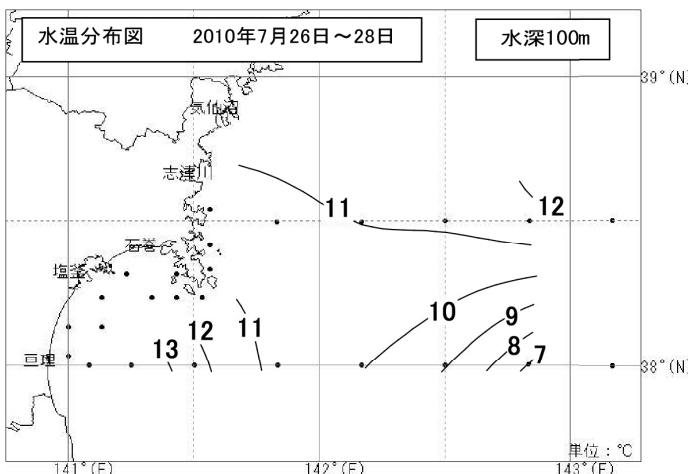
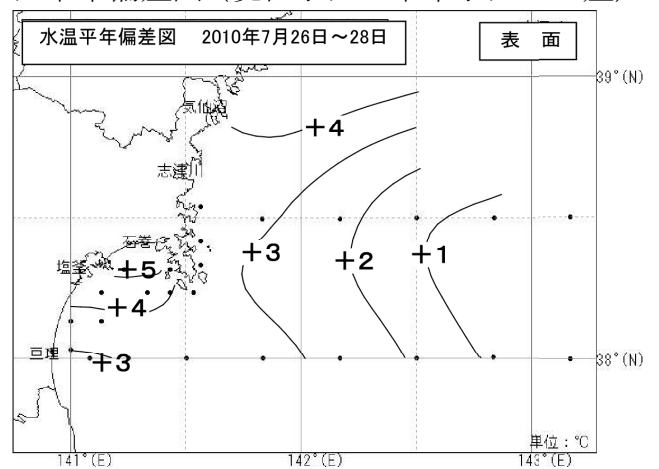
7月下旬の定地水温は、平年と比べて高めとなっております、特に江島と田代島では極めて高くなっています。[P3.定地海洋観測結果]

海底直上水温については、仙台湾では前年よりも約1℃低くなっています。[P3.海底直上水温図]

・水温水平分布図



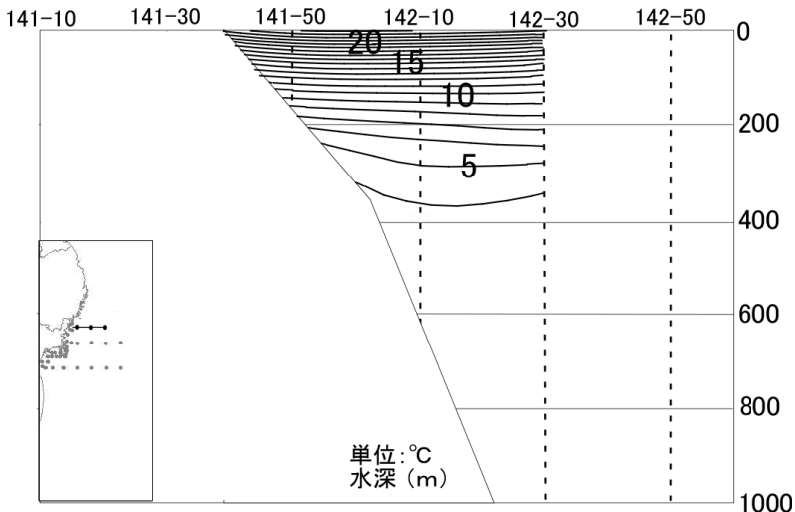
・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)



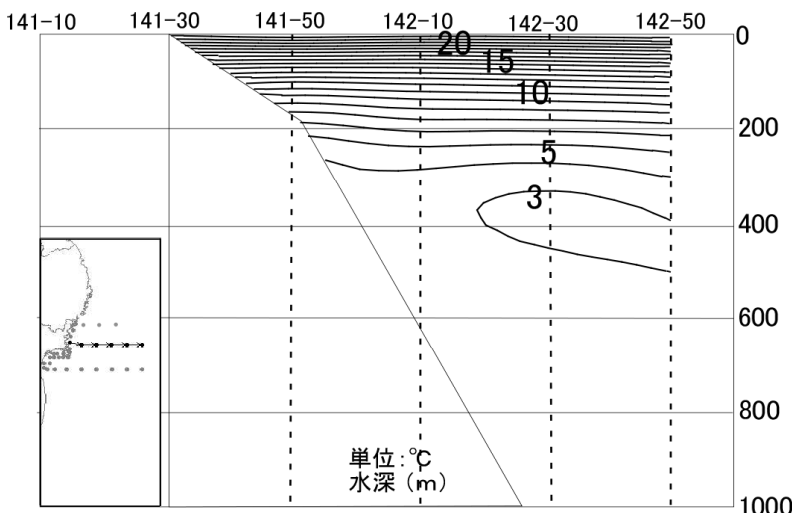
※ 海洋観測は拓洋丸と開洋が実施しました。

・水温鉛直断面図

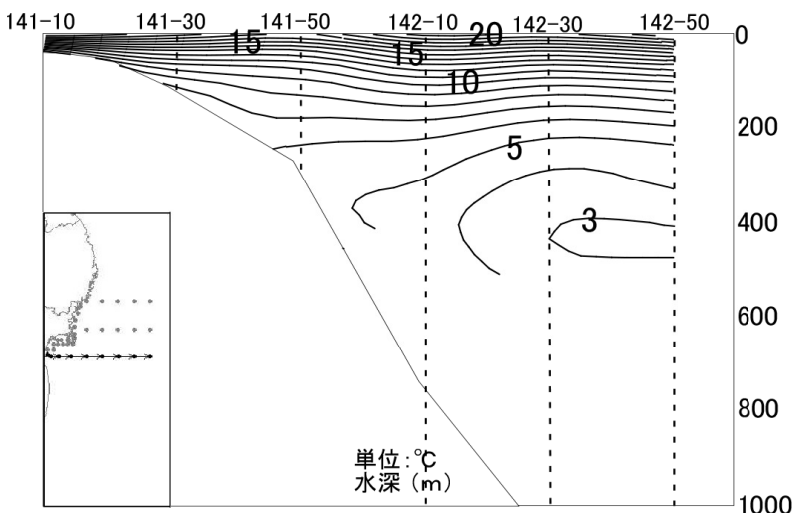
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



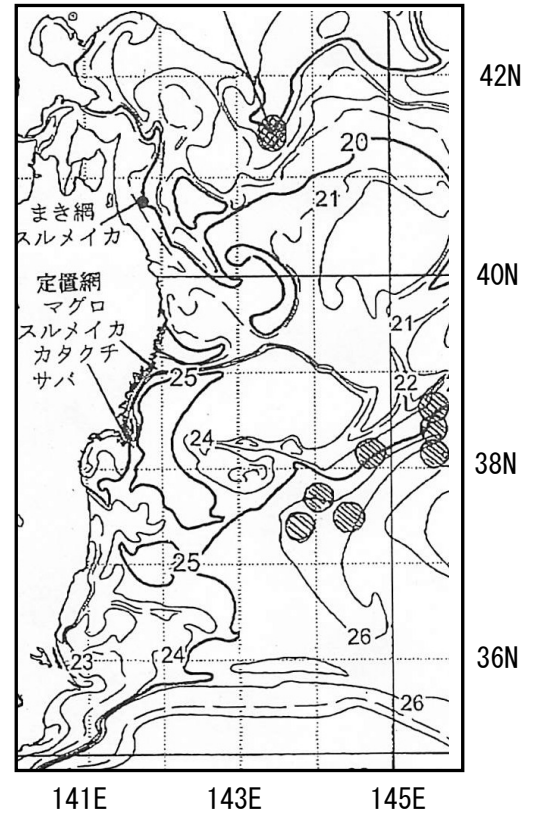
38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)



38° Nライン (亶理沖合ライン)



・2010年7月30日の東北海域の海況(表面水温)
(社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (社) 漁業情報サービスセンター

- ・鹿島灘～金華山沿岸は 21～27°C 台。
- ・金華山以北の沿岸は 18～25°C 台。
- ・津軽暖流は 20～21°C が沿岸を南下。
- ・近海では、15°C の南端は 41° 30' N・143° 30' E、20°C の南端は 39° 10' N・142° 25' E、25°C の北端は 39° 00' N・142° 45' E。
- ・東北近海の表面水温 (28 日) の平年比は並～高め。前年比は三陸沖を除いて並～高め。
- ・36° 30' ～38° 15' N・145° 30' ～147° 10' E (24～25°C 台) と 38° 45' ～40° 15' E・148° 45' ～150° 45' E に右回りの渦が分布。38～39° N・144～147° E に潮境 (22～25°C) が分布。この渦の周辺域と潮境の暖水側はカツオ・マグロ類の漁場となっている。

・定地海洋観測結果 (°C)

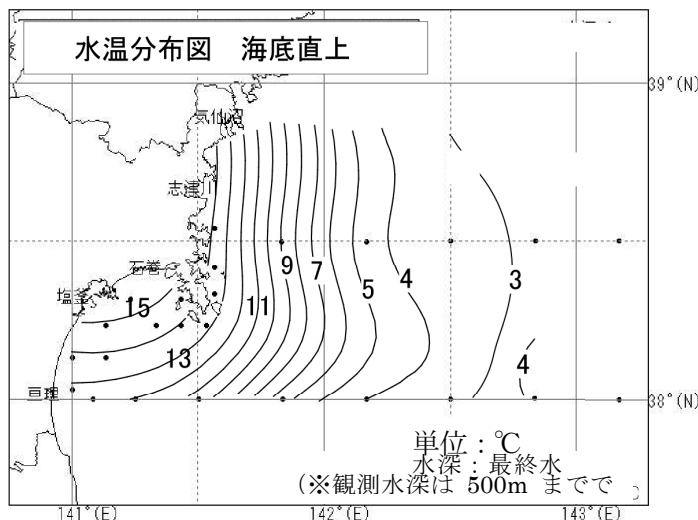
	7月下旬 (平年比)		平年差	前年差
歌津	20.0	(高い)	+1.9	+2.3
江島	20.9	(極めて高い)	+2.6	+3.2
田代島	25.6	(極めて高い)	+4.0	+4.8

※平年差は、江島、田代島：過去30年間、歌津：過去10年間との比
 ※毎日の定地水温情報は当センターホームページでも見られます。

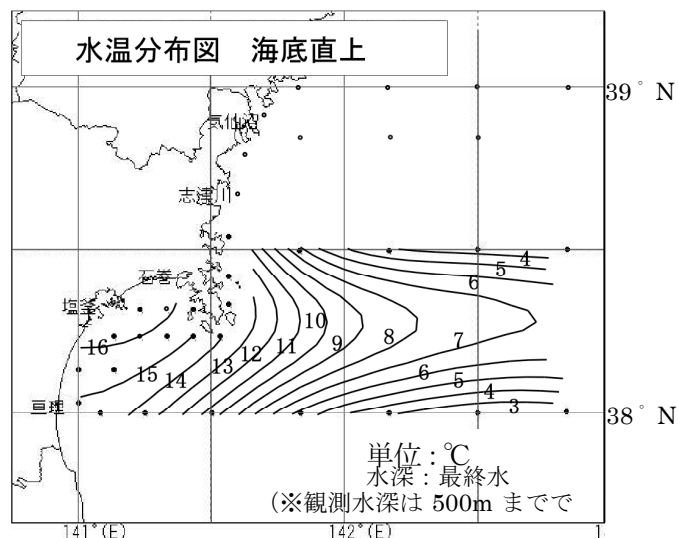
(<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>)

・海底直上水温図

・海底直上水温(2010年7月26日~28日)

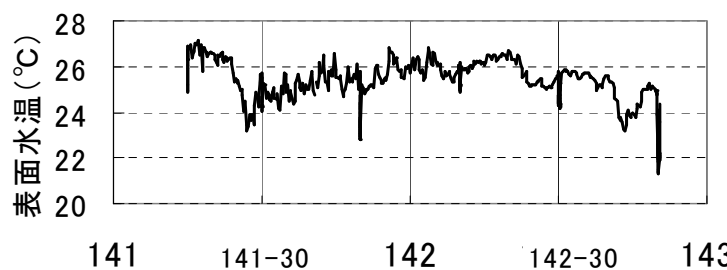
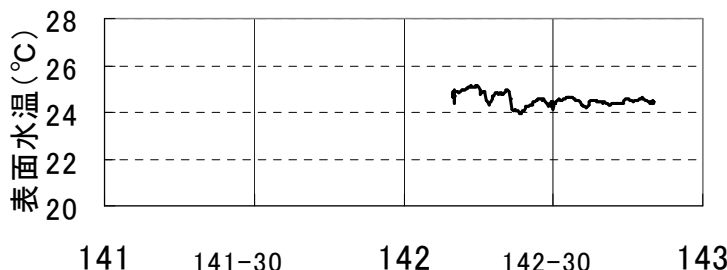
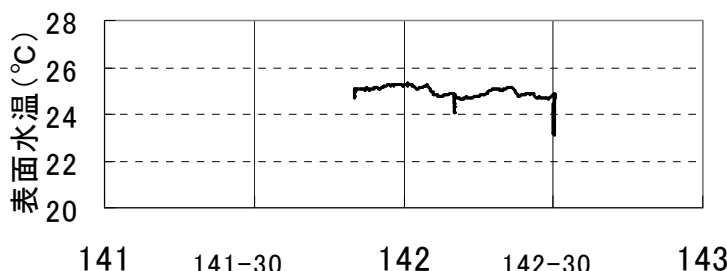
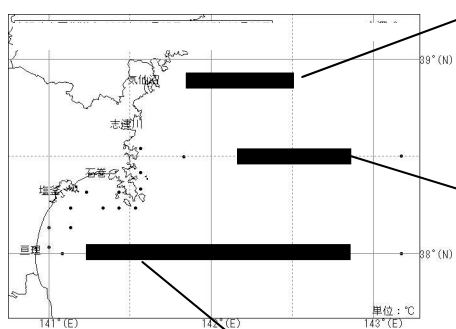


・昨年同期の海底直上水温(2009年8月3日~4日)



2. 表層水温情報

拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。



3. 漁況

主要魚種の県内10魚市場の水揚量(集計期間:2010年7月1日～7月31日 単位:t)

魚種	小底	旋網	刺網	定置網	沿岸イカ釣	延縄	大目流網	一本釣り	その他	総計	前年比(%)
カツオ		15,326					10	6,821	24	22,181	221
クロマグロ		56		38			3		3	100	95
ビンナガ		187				80	1	2,064	1	2,332	78
メバチ		93				21	0	264	52	431	105
ブリ			0	96					8	104	183
サバ類	1	269	1	3,887					35	4,193	71
マイワシ	0		0	7					38	44	36
カタクチイワシ				2,916					90	3,006	189
ヒラメ	9		29	2		0			11	52	113
スルメイカ	65			335	202				10	612	73

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

4. 調査船運航計画

拓 洋 丸	
8月17日～20日	イカ一斉調査
8月24日～25日	沿岸定線調査

開 洋	
8月10日	ヒラメ稚魚調査
8月18日	仙台湾定期水質調査
8月19日	海底耕耘効果調査
8月20日	貧酸素水分布調査
8月24日～25日	浅海定線調査
8月26日～27日	アカガイ資源調査
8月30日	アカガイ資源調査

平成 22 年度 第 1 回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報 (2010 年 8～12 月)

平成 22 年 7 月 29 日付けで、「平成 22 年度第 1 回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報— (2010 年 8～12 月)」が出されました。本予報は、北海道～鹿児島県までの水産試験研究機関がデータを持ち寄り、独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所が取りまとめ、九州～常磐南部までの黒潮流路を主とした海況予測と、マイワシ・カタクチイワシ・マサバ・ゴマサバの漁況予測を行なったものです。宮城県海域について予測が出されたのはマイワシ・カタクチイワシ・マサバ・ゴマサバで、予報内容を以下に示します。

<<今後の見通し (2010年8～12月) >>

《●海況》

対象海域：鹿島灘～常磐南部海域

見通し：沿岸域へ一時的に暖水や冷水が波及することがある。

《●マイワシ》

対象海域：房総～三陸、道東

対象漁業：まき網、定置網

- (1) 来遊量：1, 2 歳魚を主体に前年並あるいはそれを上回る。12 月以降漁獲対象となる 0 歳魚は、現時点では不確実。
- (2) 漁期・漁場：8 月までは房総～金華山沖で、1, 2 歳魚を対象に漁場形成。その後は散発的。12 月以降、常磐南部～房総海域で 0 歳魚がカタクチイワシに混獲。三陸～仙台湾の定置では 1, 2 歳魚主体で期を通じて漁獲。道東海域での漁場形成はない。
- (3) 魚体：18～20cm の 1 歳魚と 20～22cm の 2 歳魚を主体に、23cm 以上の 3 歳魚以上の個体加わる。12 月以降漁獲対象となる 0 歳魚は 12～13cm。

《●カタクチイワシ》

対象海域：房総～三陸、道東

対象漁業：まき網、定置網

- (1) 来遊量：前年を下回る。
- (2) 漁期・漁場：1 そうまき漁場は 12 月以降で常磐～犬吠埼周辺。道東のまき網は 9 月～10 月。仙台湾～三陸の定置網は全期間。常磐の小あぐり・房総沿岸の 2 そうまきは全期間。
- (3) 魚体：常磐・房総では 0 歳魚は 8～12 月に 6～10cm 台、1 歳魚は 12 月で 12～13cm 台。三陸の定置網では 12cm 前後の 1 歳魚主体。

《●マサバおよびゴマサバ》

対象海域：犬吠～三陸海域、道東海域

対象漁業：まき網、定置網

- (1) 来遊量：マサバ 0 歳魚は前年並か下回る。1 歳魚は前年を上回る。2 歳魚は前年を下回る。3 歳魚は前年を上回る。4 歳魚以上は前年を下回る。マサバとしては前年並か上回る。ゴマサバは前年を上回る。サバ類全体としては前年並か上回る。
- (2) 漁期・漁場：定置網は期を通じて漁獲される。まき網はマサバ主体で、8 月は三陸北部海域で漁場が形成される。9 月は金華山周辺でも漁場が形成され、10 月には常磐～三陸海域に漁場が広がる。11 月は犬吠埼～三陸海域で、主な漁場は常磐以南となる。12 月は犬吠～常磐海域に漁場が形成され、犬吠海域が漁場となる。
- (3) 魚体：マサバは 25～32cm (1 歳魚) が主体となり、これに 32～38cm (3 歳魚) が混じる。期後半に 25cm 以下の 0 歳魚が漁獲される。ゴマサバは 28cm 前後 (1 歳魚) と 35cm (3 歳魚) 主体にマサバに混獲される。